

やまだんの 山田野

22

独立行政法人
国立病院機構 北陸病院
〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

北陸病院を支えてくださるボランティアについて

当院には今年度18団体約119名のボランティアの方が活動をしてくださっております。私にとって、北陸病院は国立病院機構に於いて6施設目の病院ですが、北陸病院ほど多くのボランティアのかた方に支えられている施設は初めてで、驚きました。

辞書によると、「ボランティア活動は、古典的な定義では**自発**(自主)性、**無償**(無給)性、**利他**(社会、公共、公益)性に基づく活動とされるが、今日ではこれらに**先駆**(先見、創造、開拓)性を加えた4つをボランティア活動の柱とする場合が一般的となっている」とのことです。皆様はどういう意義でボランティアをされているかと思いつつ、どうしてこのように多くの方々が集まってきていただいているのか、不思議に思うと共に、たいへん感謝いたしております。聞くところによれば、地域連携室の努力や当院の職員のOBもボランティアの力の源であるようです。そのような中、先日、盆踊りの機会にボランティアの方々を招いて感謝の会を催しました。

今回は、先日の感謝会では言い表せなかった言葉を各病棟の師長さん方より、集めてみました。



笠舞乱華：いつも表情が乏しい患者様が、歌や踊りを見てわずかですが嬉しそうな表情にかわります。そんな患者様の様子を見て私たちも元気をもらうことができています。(1病棟 山田師長)

ナントハーモニー：ハーモニカの演奏を聴きながら、患者さんが歌ったり、手拍子をしていました。笑顔でした。ありがとうございました。(3病棟 堂前師長)

重心病棟の患者さんは、ナントハーモニーの皆さんの演奏に手拍子や身体をゆずってあわせ、嬉しそうにしました。(ひまわり病棟 山形師長)

かおる会：すてきな衣装と踊りで楽しませて下さり、ありがとうございます。皆様のあたたかい心が伝わってきます。(5病棟 柿島師長)

盆踊りでは皆さんの素敵な笑顔、息のあった踊り、患者さんも笑顔で盆踊りに参加できました。

(わかかさ病棟 増山師長)

法話：6病棟では法話会は年2回開催され、今までの生き方を振り返り、今後を考える機会になっています。デイケアにも毎月お越しいただいております。

(6病棟 水上師長)

あじさいの会・すみれグループ：あじさいの会・すみれグループの皆様には患者様のお茶の葉を袋詰めしてもらっています。毎回箱一杯に袋詰めしてもらっています。

(外来 南師長)

植木屋：病院に入るときれいに刈り整った庭でとても気持ち爽やかになります。私たちの美化作業ではこのようにうまくはいきません。(医療安全 中谷師長)

このほか、法律相談会・富山ダルク・生け花・語り部ひまわりの会・民謡踊り・手芸・合歓の木・小学生慰問ボランティア等大勢のボランティアの方々に北陸病院は支えていただいていることに驚き、とても嬉しく思います。

(副総看護師長 西村)

ボランティアの方々のたゆまぬ力で日常が支えられていることにあらためて感謝いたします。また、いつまでもボランティアの方々が集まっていただける北陸病院でありつづけられるよう私たち職員も頑張っていきたいと存じます。

(総看護師長 菅野和子)

認知症の人との接し方

その②

統括診療部長 吉田 光宏

前回に引き続き、認知症の人の家族が困る症状への具体的な対応策について挙げてみました。実際には、他にもうまく対応する方法があると思いますが、参考になれば幸いです。

Q3 食事をして間もないのに「食べていない」と言う。

A 「何言ってるの！さっき食べたばかりでしょう」と言っても本人は食べた記憶がありませんから納得しません。

こんな時は、一回の食事の量を減らしてもう一回食事やおやつをとれるようにする、状況に応じて、長持ちする餡や少量の好物や果物、スルメ、塩昆布などを用意するなど工夫してみてください。すぐ忘れるという認知症の人の特徴を考慮して、「もうちょっと待っててね」と伝えた後、テレビやゲーム、軽作業など他に関心を逸らし、食事の事を忘れてもらうようにすることも有効です。

Q4 徘徊して、迷子になる。

A 名前と連絡先を書いた名札を本人の見えない位置に付けたり、町内会や介護支援サービス、警察などに相談し、状況を伝えておくことや位置情報がわかる携帯電話を持たせていると迷子になった時には有用です。

記憶障害が進行すると、今の自宅が自分が以前住んでいた家や実家とは違うため、自分の家のように思えなくなってくる場合もあるようです。家族は、本人が自宅で疎外感に陥らないようにする気配りが大切ですし、出て行こうとする場合は、もう遅いから明日にしようなどに関心を逸らしたりすることも効果的です。

Q5 昼眠って、夜起きて物音をたてる。

A 夜に眠れないのは、認知症を悪化させる原因にもなるので、昼間は、外出して日光に当たったり、運動したりして、睡眠リズムを整えてください。

また、夜、暗い部屋に一人していると、自分がどこにいるのか不安になり、家族を探して歩き回ることがあります。横で寝たり、寝室に薄灯りをつけておくなど工夫することで安心して眠れることもあります。

Q6 尿失禁がみられる。

A 失禁は、動作緩慢でトイレまで間に合わなかったり、トイレの場所を忘れてたり、衣類をうまく脱げなかったり、尿意を感じにくかったりするために起こります。居室をトイレに近い場所にする、脱ぎやすい服にする、灯りをつけてトイレの場所をわかりやすくする、トイレまで誘導するなど工夫が必要です。

また、内服薬や外科的治療で改善する場合（神経因性膀胱、慢性硬膜下血腫、特発性水頭症など）がありますから、主治医と状況についてよく相談しておくことも大切です。



合同行事盆踊り



当院では、去る、8月22日に病院内で合同夏祭りとして「盆踊り」を開催しました。

「入院中の患者様、そのご家族様に療養生活の中で、夏の気分を味わってほしい」との思いから夏の定番行事の一つとして病院挙げての合同行事を開催しております。今年度は200個の提灯の電球を変え、照明も薄灯かりに調整し雰囲気づくりに力を入れてみました。

また、当院の行事に日頃からご協力頂いておりますボランティアの方々によるアトラクションも素晴らしいものでした。太鼓の勇ましさは体育館内に響き渡り、さらにハーモニカ演奏に参加者の皆さんが歌を口ずさみ、一体化した合唱となりました。メインの盆踊りでは、「炭坑節」「どんぱん節」「会津磐梯山」「麦屋節」「越中おわら節」の5曲を通して踊りました。今年は浴衣姿の方々が多く、花を添えていただくことができました。参加された皆さんの笑顔や歌声が印象的でした。患者様、ご家族様以上に職員も一緒になって楽しいひとときでした。看護学生の方からも「思い出深い実習となりました。ありがとうございました」の言葉が聞かれました。参加総数226名の盆踊りは盛大のうちに終わることができました。

これからも地域の方々のあたたかい心に深く感謝するとともに、これからも行事を通して季節感を味わっていただけるよう努力させていただきます。次年度も乞うご期待下さい。

(5病棟師長 柿島 ゆかり)

外来担当医表

項目	月	火	水	木	金	
精神科・神経科（初診）	市川・坂本	坂本・市川	白石・坂本	石崎・村田	細川・白石	
精神科・神経科（再診）	石崎・立脇	白石・池田	村田・立脇	市川・池田	池田・立脇	
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹	
内科	戸部	渡辺	戸部	大浦	戸部	
専門外来	睡眠（初診）		古田	古田 ※②		
	睡眠（再診）		細川	戸部	古田	
	もの忘れ	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 ①診察は全て事前予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。 ②睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。（水曜日午後） 【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950				
	パーキンソン病					
	物質使用障害					
	重症心身障害					

インターンシップを受けて

7月30日～8月31日の間、夏休みを利用したインターンシップ（職場体験）を開催しました。富山病院附属看護学校、金沢医療センター附属金沢看護学校、高岡医師会看護学校から計23名の学生さんが参加していただきました。

貴重な夏休み期間に1週間から長い人では1か月間、看護師とともに患者さまのお世話や、ウェルカム講演を聞いて頂きました。参加の学生さんからは実習とは違った体験ができ勉強になったと喜んでもらえました。北陸病院をより知っていただく機会として今後も企画していきたいと思えます。

副総看護師長 西村富貴子



【交通アクセス】

◆交通機関

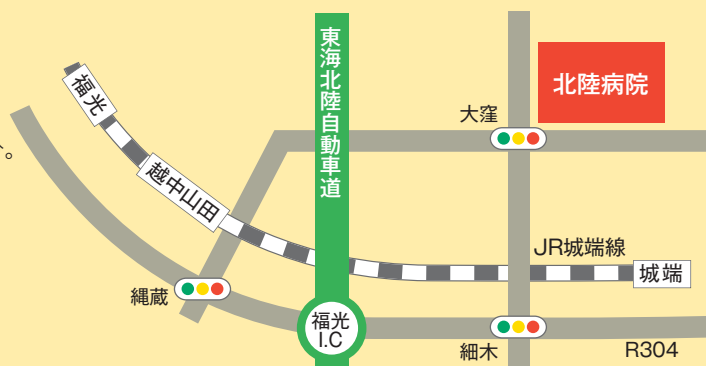
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・上野・前田